

当院でのPulmonary Vein Isolation (PVI) における鎮静管理の変遷に関する研究

1. 研究の対象

2015 年 1 月 9 日～2026 年 3 月 31 日に当院でカテーテルアブレーションを受けられた方

2. 研究目的・方法

当院では i-gel (気道確保声門上デバイス) を用いて肺静脈隔離術 (PVI) を行っています。

PVI は痛みを伴うため疼痛管理、麻酔管理が非常に重要です。

現在、当院で行っている鎮痛管理、麻酔管理の効果、有用性についての検討をするための研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象は当院で上記期間内に肺静脈隔離術 (PVI) を受けられた病客対象

年齢、性別、BMI、既往歴

アブレーション時の総通電時間、通電回数、鎮静時間、覚醒時間、手技時間、薬剤総使用量、血圧
心臓超音波検査、血液データ (クレアチニン) 等の項目を電子カルテの記録から収集

6 ヶ月後、1 年後の再発の有無を外来時に確認

研究によって得られた情報は個人が特定されないよう厳密に取り扱います。匿名化した情報にパスワードを設定しパスワードロックが可能な USB またはハードディスクに個人が特定できないようにした対応表で、保管・管理します。この研究で得られた成績は、学会などで公表しますが、病客さまの名前などの情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究担当者：心臓病センター榊原病院 看護部 師長 高松幸子

研究責任者：心臓病センター榊原病院 循環器内科 部長 伴場圭一